

平成25年6月28日

理事長 殿
病院長 殿

公益社団法人 全日本病院協会
会長 西澤 寛俊
医療機関トップマネジメント研修事業
担当理事 徳田 禎久

「第8回 医療機関トップマネジメント研修コース」参加のご案内

日頃より、全日本病院協会の活動にご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。
さて、当協会では、平成18年度より、会員病院の理事長・院長の方、あるいは将来の理事長・院長候補の方を対象にした「医療機関トップマネジメント研修コース」を開講いたしております。

本研修コースは、当協会が経済産業省の委託事業において開発したトップマネジャー向けの研修用教材を使用し、主として戦略的・効率的な医療経営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指すものです。

本研修の大きな特徴は、テーマに関して全般的な講義を受けた後、参加者がグループワークで解決方法を考えるケーススタディ形式を行っていることにあります。

講師陣には、ケース作成にかかわり当協会の各委員会でも活動され、医療現場の実情を熟知されている方、経営についての専門家をお迎えいたしております。

第1回から第7回までに、全国各地から計258名のご参加をいただきましたが、医療界では数少ないグループワークによるケーススタディ形式の研修が大変好評でありました。また、各自が自分の考えをまとめる方法を学ぶと共に、他の参加者の考え方や経験を知ることにも可能となり、管理者としての経験の浅い方にも有意義な研修であったとのご感想をいただいております。

また、ケースの更新や新しいケースを追加しつつ、参加者の研修の評価も検討しながら、より効果的な質の高い研修会へと進化させております。

つきましては、第8回研修コースについて、別添パンフレットのとおり企画いたしましたのでご案内申し上げます。是非ともパンフレットをご高覧いただき、ご参加を検討いただきたくお願い申し上げます。

なお、参加申込は平成25年7月31日（水）までとなっております。

本コース開始日（第1単位）は平成25年9月7日（土）・8日（日）です。

※受講料金は（公社）全日本病院協会の会員・非会員とも同一です。

【問合せ先・申込先】

公益社団法人 全日本病院協会 事務局

〒101-8378 東京都千代田区猿楽町 2-8-8 住友不動産猿楽町ビル7F

TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444

ホームページ <http://www.ajha.or.jp/>



受講のご案内

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

第8回(平成25年度)

医療機関

トップマネジメント

研修コース

受講対象 理事長・院長の役職にある方、または将来の理事長・院長候補の方

開講期間 平成25年9月～平成26年1月
全4単位、各単位2日間 土曜13:00～21:00 日曜9:00～15:00

受講料金 全4単位 300,000円(食事代・懇親会費含む)

受講定員 40名

会場 公益社団法人 全日本病院協会
〒101-8378 東京都千代田区猿楽町2-8-8 住友不動産猿楽町ビル7F
TEL.03-5283-7441

申込締切 平成25年7月31日(水)

協賛 全日病厚生会



公益社団法人 全日本病院協会

Program

●講師・講義内容は変更になる場合があります。

第1単位 9月7日(土)13:00~21:00 8日(日)9:00~15:00

(第1日目)オリエンテーション、医療概論、経営学概論

●講師

飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長
伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
李 濟民 小樽商科大学大学院商学研究科 教授

■概要

<医療概論>
医療経営をするために必要な基本的考え方と知識を提示する。医療とは何か、医療の特性、医療制度(医療提供体制と医療保険制度)、医療機関の特徴、組織とは何か、とくに病院とは何か、病院の組織図、病院の業務、医療の標準化、情報化。
<オリエンテーション、経営学概論>
・ケーススタディー方法論とケース研修の目的を説明する。
・経営概論
医療事業において必要とされる経営学の基礎的用語・概念を中心に解説する。SWOT分析による競合相手の位置付けや、マーケティングの代表的手法を紹介する。

第1単位 1日目	医療概論	講義
	ケーススタディの説明	説明
	経営学概論	講義
	懇親会	

(第2日目) 広報・ブランド管理、医療の質評価、DPCの活用

●講師

伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要

<医療機関の広報戦略>
医療機関に適用しうる広報戦略について講義。対象は対顧客用のブランド構築について事例を交えて説明。
<医療の質評価、DPCの活用>
急性期病院の包括評価であるDPCでは、標準コードを使用し、電子的に、医療内容を含む情報が利用可能となる。これを用いた医療の質評価の方法について学ぶ。また、DPCの導入により、医療機関の機能分化、外来を含むバスの改訂、検査の絞込み、ジェネリック薬の導入など医療マネジメント方法は大きく変わった。これについて概観し、課題を明らかにする。

第1単位 2日目	広報・ブランド管理	講義
		グループワーク
	医療の質評価・DPCの活用	発表討議
		講義
	グループワーク	
	発表討議	

第2単位 11月16日(土)13:00~21:00 17日(日)9:00~15:00

(第1日目) BSC、財務管理、管理会計

●講師

伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
佐藤 剛 グロービス経営大学院 教授
石井 孝宜 公認会計士

■概要

<BSCの解説>
BSCの概要を説明し、BSCの手法(設計、評価等)を説明。中規模病院で利用されたBSC実施の成功要因を考察する。
<財務管理、管理会計>
財務管理に関する基本的な考え方を解説した後、病院における管理会計の基本となる病院会計準則について説明するとともに基本的な病院経営指標の具体的な算式や理解の仕方を明確にする。また、開示されている様々な病院開設主体及び病院の財務情報を確認することによりトップマネジメントとして認識すべき財務の視点を習得する。

■演習

<BSC>
BSCの実施方法の習得。
BSCの活用目的と心構えについて各自の病院の状況を加味して検討。
<経営指標実例の分析・評価>
病院及びその開設主体において必要とされる経営指標の内、機能性、収益性、生産性、財政状態について理解を深めるため実在する具体例や厚労省の病院経営指標を使用し、実務的な活用を可能にするとともに現時点の病院経営評価に役立てられるように解説する。

第2単位 1日目	BSC	講義
		グループワーク
		発表討議
	財務管理・管理会計	講義
		演習
		質疑応答

(第2日目) 安全管理、リスク管理

●講師

長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要

<安全管理、リスク管理>
医療安全は医療の質の最重要の構成要素である。医療安全の考え方を明らかにし、具体的な事例を基にした対応策の検討、院内での体制づくりの方法について検討する。

第2単位 2日目	安全管理	講義
		グループワーク
		発表討議
	リスク管理	講義
		グループワーク
		発表討議



第3単位 12月7日(土)13:00~21:00 8日(日)9:00~15:00

(第1日目)在宅医療、医療における総合的質経営(TQM)基礎

●講師

長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授
飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長

■概要

<在宅医療>

高齢化社会において、持続可能な医療提供体制を考えると、医療政策上、在宅医療は有力な選択肢となる。また、在宅医療の提供、あるいは、その支援は地域一般病院を目指す際の検討課題となる。病院経営における在宅医療の可能性、位置づけを検討し、課題を明らかにする。

<医療における総合的質経営(基礎)>

医療への総合的質経営(TQM)の導入を検討するための、基本的考え方と知識を提示する。

理念・方針、質管理理論・質管理手法、なぜ質向上か、量から質へ、医療の質向上、質向上活動、質管理(Quality Management)の基本的考え方、情報共有と標準化、継続的改善、PDCAサイクル、方針展開等

■演習

<医療における総合的質経営(基礎)>

- ・理念・方針の徹底
- ・なぜ質か
- ・改善の必要性
- ・トップの役割
- ・改善活動の組織化
- ・推進方法検討
- ・組織の活性化
- ・(品)質管理
- ・総合的質経営

第3単位 1日目	在宅医療	講義
		グループワーク
		発表討議
	TQM基礎	講義
		グループワーク
		発表討議

(第2日目)医療における総合的質経営(TQM)応用

●講師

飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長
柳川 達生 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 副院長

■概要

<医療における総合的質経営(応用)>

医療への総合的質経営(TQM)の導入事例(ケース・スタディ)GWと発表/質疑

第3単位 2日目	TQM応用	講義
		グループワーク
		発表討議

第4単位 1月25日(土)13:00~21:00 26日(日)9:00~15:00

(第1日目)慢性期包括評価、医療連携

●講師

池上 直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

■概要

<慢性期包括評価>

包括評価の導入の背景、分類基準の開発、療養病床としての対応について系統的に解説する。

<医療連携>

病院における連携について、講師が行ってきた実態調査の結果を踏まえて現状とその課題を解説後、連携が絶対条件となる地域医療支援病院をケースとして取り上げ、演習、講評を行う。

■演習

<慢性期包括評価>

- ・包括評価導入に伴う区分構成の変化、モニター、人員配置、収支の変化
- ・病床転換や連携の新しいあり方

<医療連携>

- ・自院における連携を踏まえて、ケースにおける連携あり方を検討
- ・連携を進めるうえでのトップの役割

第4単位 1日目	慢性期包括評価	講義
		グループワーク
		発表討議
	医療連携	講義
		グループワーク
		発表討議

(第2日目)管理会計、人事管理

●講師

池上 直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

■概要

<管理会計>

管理会計の基本的な考え方を解説した後、病院において診療科別管理会計を導入する際の課題について検討する。

<人事管理>

人事管理の普遍的課題について解説した後、職員のほとんどが有資格者である病院の特殊性を説明する。そのうえで、人事管理システムを導入した病院のケースについて演習、講評を行う。

■演習

<人事管理>

- ・自院における人事管理を踏まえて、ケースにおける人事管理を検討する。

第4単位 2日目	管理会計	講義
	人事管理	講義
		グループワーク
		発表討議

第8回

医療機関トップマネジメント研修コース 参加のお勧め

公益社団法人 全日本病院協会

会 長 西澤寛俊

日頃より当協会の活動にご協力ご支援をいただき、誠に有難うございます。

現在、政府の社会保障制度改革国民会議における医療・介護分野の見直し等、2025年を見据えての改革が進められつつあります。昨年度には社会保障・税の一体改革で示されたあるべき医療の実現に向けた第一歩の改定として、診療報酬・介護報酬同時改定が行われました。しかし、病院数の減少はとどまらず、赤字経営を強いられる病院も多くあり、病院を取り巻く環境は未だ厳しい状況にあります。

また、社会の医療提供に対する要求は高度化・多様化しており、我々は環境変化の有無に関わらず、これまで以上に質向上、効率化を図り公共性の高いサービス業として事業を継続していく必要があります。そのためには、施設運営に際して医療実務(専門技術)と経営実務(管理技術)双方を兼ね備えたトップマネジャーの存在が不可欠ですが、医学教育・卒後研修の中に経営学並びにその実務習得は含まれておりません。

全日本病院協会では、平成17年度から経済産業省の「医療経営人材育成事業」に参画し、研修用教材作成を行い、平成18年度より、これを利用した医療界では数少ないケーススタディによる研修会を開催致しております。

本研修では、施設運営の際のモデルとなるような民間病院の実例を中心に、効率的、戦略的な医業運営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指しグループワークを中心に行っております。現在のトップマネジャーや次世代を担う理事長・院長候補の方々为全国からご参加され、普段では聞くことのできない各施設の実態に関する意見交換の場ともなり、受講者間の有意義な交流も行われております。

系統的な教育と実践に基づく知識・見識に富む行動力のある経営者の育成を目指し、今年度も引き続き「医療機関トップマネジメント研修コース」を開催致します。

各病院からの積極的なご参加をお願い申し上げます。



公益社団法人 全日本病院協会

第7回(平成24年度)

医療機関トップマネジメント研修コース

受講者の声



地方独立行政法人
加古川市民病院機構
副理事長
加古川西市民病院
院長
石川 雄一

3年前に突然大学教授会から病院長に就任するように命じられました。2つのミッションがあり、1つは加古川市民病院(現加古川西市民病院)の内科の立て直し、もう1つは、企業立病院である神鋼加古川病院との統合再編でした。どちらも大変なミッションでした。初めはガバナンス、マネジメントがよくわからないままがむしゃらに前に進んできた感があり、もう少し科学的なマネジメントは出来ないかと考えるようになりました。その時に、この研修会に参加したことのある理事長から、この研修コースに参加するように勧められました。この研修コースで包括的にトップマネジメントを学ぶことができ、病院も現在はなんとか軌道に乗り始めています。講義はどれもトップに立つ者にとって必要な事項が盛り込まれたものでした。予習をしなければならぬのですが、普段はあまり時間がなかったので、行きの新幹線の中で予習をしました。私にとってグループワークがさらに有益でした。いろいろな医療機関から志のあるトップの方と自分の言葉で語り合い、相手の方に理解していただき、また別の視点からの素晴らしいご意見をうかがえる機会でした。講師の先生、一緒に語り合えた皆さまに感謝申し上げます。



医療法人
竹村医学研究会(財団)
小阪産病院
副理事長
竹村 真紀

病院新築の話が進む中「今でしょう!」と聞こえた気がして申し込んだ。しかし、土日かけて、しかもグループワークなんて聞いたこともない講義が2時間、大丈夫だろうか?と不安の中、6名のグループに分かれて席に着くと講義が始まった。流石は第一線で活躍されている先生方の講義で、テキストでは全く頭に入らなかった言葉が、具体例などを通して一つずつ自分のものになっていく。グループワークは、討議を重ねていく内に時間が足りないと感じる間に、一日が終わった。北海道から沖縄まで、様々な診療科の、また医師だけでなく事務長や企画室など、それぞれ立場や考え方の違った人が集まって話が出るなど滅多にないことである。すぐには全てを活用できないような高度な内容ではあったが、今後の病院経営にきっと新しい知恵を得られたような、何よりこの厳しい医療情勢を共に戦う戦友が出来た思いがした10日間であった。



医療法人社団如水会
今村病院
病院長
平田 祐造

常日頃より医療の質、差別化(当院の役割、存在意義)、病院のチカラとはなど、自問自答しながらの毎日でした。今回の研修に参加して、そんな試行錯誤の中でも、考える方向性をいくらか見出すことができたと思います。机上の論理ではない、説得力のある講師による系統的な講義で、必要な知識や考え方を整理することができました。またある部分では、自分の考え方で良かったのだという確信も得ることができました。週末を使っただけの研修でかなり疲れましたが、大きな成果がありました。またワークショップの中で、全国から集まった、悩める院長たちとの共感を覚えることができたのも良かったと思いました。本当にありがとうございます。



医療法人創起会
くまもと森都総合病院
理事長・院長
藤山 重俊

9年前に副院長として当院に赴任し、5年前から院長となっています。加えて、全国のNTT病院の先陣を切って、いわゆる企業立病院から新病院建替へとセットで医療法人として一昨年に独立し、理事長も兼任しています。卒業以来34年間を一貫して大学病院で過ごしてきたので、病院経営、病院管理などの実務・教育はほとんど受けたことがなく、昨今の厳しい医療環境のなか大変苦勞しています。今回、「医療の質管理、DPCの活用」、「慢性期包括評価、医療連携」、「管理会計、人事管理」、「財務管理・管理会計、BSC」、「安全管理・リスク管理」、「DPC、TQM」などについて、核心を得て実践的な講義と色々な立場の参加者の考えを聞き、活発に討論できたグループワークを通して、トップとしての心構え、確固たる信念の重要性を改めて痛感した貴重な機会となりました。